

令和4年度取組状況

ものづくり工学科 電気電子工学工学コ- (職)教授 (氏名)曹 梅芬

取組状況	
教育	<p>1. 座学と実験の連携 座学と実験を連携させることで、学生の理解度と学習意欲を向上させることができた。座学の配布資料に各々の項目が実験のどのテーマに関連するについて明記し、実験時にもその授業の資料を用いて説明することにより座学と実験のタイミングのズレによる影響を軽減した。</p> <p>2. 授業用PPTの作成と予習シートの導入 昨年度作成した担当科目のPPT資料を改善した。PPT資料を事前にWEB配布することで、学生の予習復習にも役立てられた。予習シートを導入し、予習・復習の習慣付けを促しながら、問題点を中心に授業中に解説を加えるなど、教育効果の向上のための工夫をした。「電気機器学II,III」では、電験3種問題を追加演習として取り入れ、学生の実践力と応用力の向上を図った。</p> <p>3. ゼミ・卒研の指導 基礎勉強会のほかに、5年生輪講・発表練習への参加も取入れたゼミ指導を行った。卒研とゼミの輪講(12回)を行った。課題発見と解決能力及び研究方法や論文の書き方など技術者として必要な基礎知識を身につけられるように卒業研究を指導した。</p>
研究	<p>曹梅芬, 土屋穂高, “ポテンシャル法を用いた全方位移動ロボットによる障害物回避”, 東京都立産業技術高等専門学校紀要, 第十七号, 2023.3</p>
社会貢献	<p>1. 出前授業 世田谷区立千歳中学校で「電気はどうやって作られる」というテーマの出前授業を実施した。</p> <p>2. 研究分野・成果のアピール 教員シーズ集などを通じて、研究分野・成果をアピールし、企業からの受託研究や技術相談などの要請に対応できる体制を整えた。</p>